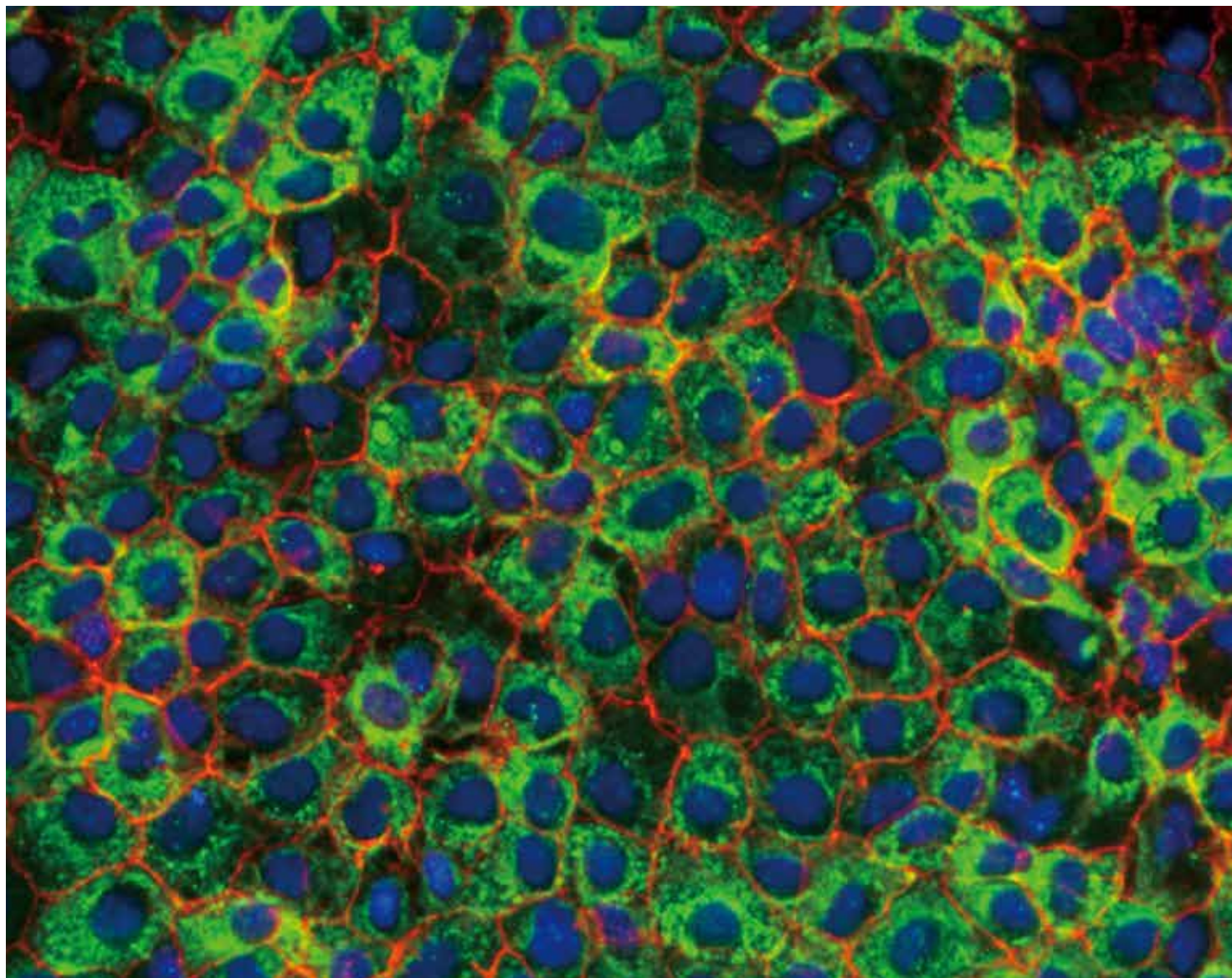




枠を超えた、知の冒険

国立大学の研究所・センターは、
理学・工学、医学・生物学、人文・社会科学などをリードする
最先端研究に取り組んでいます。
最先端研究の現場での学生教育、若手研究者支援にも
熱意をもって取り組んでいます。

2016

国立大学附置研究所・センター長会議
国立大学附置研究所・センター部会別一覧

平成28年度の「国立大学附置研究所・センター長会議」の会長を務めることになりました、大阪大学微生物病研究所の松浦善治です。就任にあたり一言ご挨拶申し上げます。

本会議は、国立大学の附置研究所と研究センターの密接な連携と協力により、わが国の学術振興に寄与することを目的として、60余年の歴史を持つ「文部科学省所轄並びに国立大学附置研究所会議」を承継し、国立大学が法人化された平成16年度に発足しました。平成28年4月現在、全国の国立大学法人に設置された97(30大学)の附置研究所と研究センターが本会議に参加しています。これまで附置研究所・センターは、広範な最先端の研究を活発に推進しながら大学院教育を担い、研究者・技術者の育成に重要な役割を果たしてきました。第3期中期計画がスタートし、本会議の活動を通して我が国の学術研究政策に対して問題提起や提言を行うとともに、附置研究所・センターの学術研究の意義とその成果を積極的に発信しなくてはなりません。また、文部科学省とも緊密に協議しながら、国立大学共同利用・共同研究拠点協議会との連携を図り、わが国の学術研究の中核としての附置研究所・センターのあるべき姿を示していきたいと考えております。皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



平成28年度会長
大阪大学 微生物病研究所
松浦 善治 所長

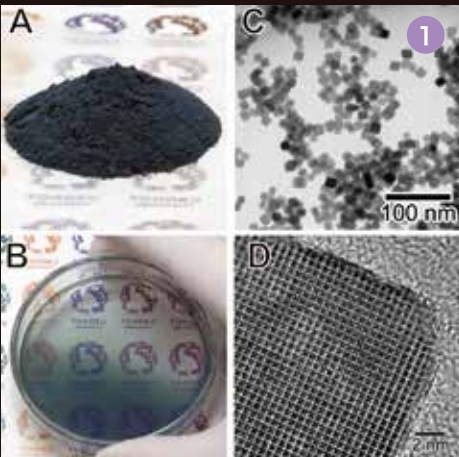
第一部会の活動

Science and Technology

1

①液相での精密合成により得られる低抵抗透明導電性ナノ粒子・ナノインク

- A: 低抵抗スズドープ酸化インジウム (ITO) ナノ粒子粉。導電性由来に青色に呈色します。
- B: ITOインク。基板に塗布することで透明かつ導電性を示します。フレキシブルデバイス開発の重要な素材となります。
- C: 液相合成法により得られる ITO ナノ粒子の透過型電子顕微鏡写真。サイズ・形態が精密に制御されています。
- D: Cに示した粒子の高分解能透過型電子顕微鏡写真。原子レベルで均一な結晶構造を有することがわかります。



本研究所では、材料開発を通して未来に貢献する様々な研究活動を展開しています。(東北大学 多元物質科学研究所)

②新たな合金

高い強度をもち、からだにも優しい新たな合金でできた多数の小球を積み重ねて接合し、ひとつの棒の形に加工した試験用サンプルです。先進的な加工方法を利用して、骨と同様に軽く丈夫でしなやかな、からだの中でも安心して使える人工材料の開発を進めています。(東京医科歯科大学 生体材料工学研究所)

③マウスピース型バイオセンサ

口腔からは病気や健康状態に関する多くの生体情報が得られます。そこで歯科用のマウスピースの材料技術と、センサ&無線通信技術を融合することで、マウスピース型バイオセンサを開発しています。このセンサは普段の生活でも、意識することなく用いることができ、口腔の生体情報を連続的にモニタリングすることで、口腔内の状態評価のほか、病気の早期発見や体調評価などに利用が可能となります。(東京医科歯科大学 生体材料工学研究所)

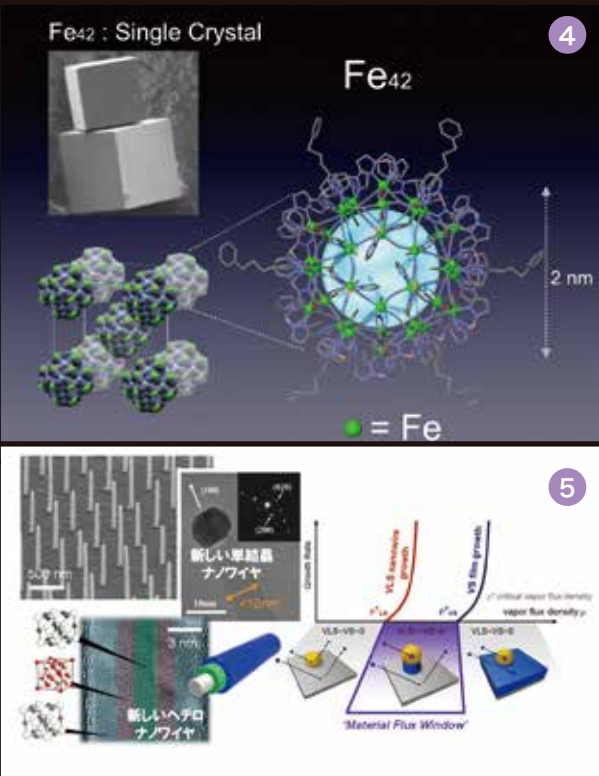


④最大のスピン量子数を有するナノクラスター

高密度磁気記録材料の開発を目指して直径約2nmの籠型構造を有する鉄42核ナノクラスターを開発しました。鉄イオン間に強磁性的相互作用が働き、ナノクラスターのスピン量子数は世界最高の90/2です。Kang, S et al., Nature Commun. 6, 5955 (2015) (九州大学 先端物質化学研究所)

⑤単結晶ナノワイヤ構造の創製

単結晶ナノワイヤを合成する材料設計指針を構築しました。これにより、従来技術では不可能であった金属酸化物から構成される機能性酸化物材料の単結晶ナノワイヤ構造の創製に成功しました。Klamchuen, A et al., Nano Lett. 15, 6406 (2015) (九州大学 先端物質化学研究所)





①ゴビ砂漠（モンゴル）での黄砂発生観測

黄砂は発生域では人や家畜の生死に関わる災害（砂塵嵐）であり、日本など風下域においても健康や生態系への影響が懸念されています。災害、健康影響を回避するためには、黄砂発生の正確な予測が不可欠ですが、土壌・地表面状態と黄砂発生の関係は十分に解明されておらず、予測精度は必ずしも高くありません。砂漠の土壌・地表面はほとんど変化しないと思われがちですが、実際には年・季節によって変化しており黄砂発生量に大きく影響していることが観測を通じて分かってきました。（鳥取大学 乾燥地研究センター）

②モンゴル草原の野生動物追跡

世界でもっとも保存状態のよい草原であるモンゴル草原には、大移動をする野生動物が生息しています。動物の移動と環境条件との関係解明と草原生態系の保全をめざし、動物の衛星追跡や環境リモートセンシングなどを用いた研究を進めています。写真はソーラーパネル付のGPS・携帯電話通信システム首輪を装着されたモウコガゼルです。（鳥取大学 乾燥地研究センター）

③作物の耐乾性を向上させる化合物の発見

気候変動による乾燥地の拡大や世界人口の増加に伴い、将来に亘って安定した食糧生産を実現させるための技術開発が求められています。作物の耐乾性を向上させる化

合物を発見し、キナバクチンと名付けました。キナバクチンの投与によって、ダイズの耐乾性が向上することを示しています。（鳥取大学 乾燥地研究センター）

④伝統医薬学研究の中核的情報発信拠点の形成

和漢医薬学総合研究所の民族薬物資料館では約50年にわたり、漢方医学や中国医学、アーユルヴェーダなどの伝統医学で使用されている民族薬物（主に生薬）約28,000点を蒐集して研究し、展示も行っています。また、本研究所では、伝統医薬学に関する資源科学的、生命科学的及び臨床医学的なエビデンスを統合・整理した世界で唯一のデータベースである和漢薬データベースを構築し、国内外に公開しています。本データベースを通じて、学術情報を集積、交換、発信するとともに国内的及び国際的共有化を図り、併せて国内及び国際共同研究を推進しています。（富山大学 和漢医薬学総合研究所）

⑤天然薬物資源の研究開発

世界各国の伝統医学では、身の回りに存在する植物、動物、鉱物を用いて、病気の予防や疾病の治療等を行っています。しかし、環境破壊や気象変化等により、天然薬物の安定的供給が今後増々困難になると予測されています。和漢医薬学総合研究所では、天然薬物資源の確保、保全による持続的利用を図るために、薬用植物の学術調査・蒐集・データベース化、栽培・育種とその評価、遺伝

子情報解析、遺伝子工学的研究、及び新しい天然薬物資源の開発研究を推進しています。（富山大学 和漢医薬学総合研究所）

⑥和漢医薬学の基盤研究の推進と東西医薬学の融合

和漢医薬学総合研究所では、現代の最先端科学技術を駆使することにより複雑系薬剤である和漢薬の薬効を精緻に解明し、それにより和漢薬を利活用して、これまで有用な治療薬を開発することができなかった認知症などの神経疾患や免疫疾患、生活習慣病等の難治性疾患に対する新たな薬物治療戦略の開発を目指しています。（富山大学 和漢医薬学総合研究所）

⑦伝統薬物を基にした難治性疾患に対する創薬研究

有効性や安全性等の臨床知見や臨床情報を含む人類の長年の叡智が込められている和漢薬を臨床予測性の高い創薬リソースとして用いる創薬研究戦略により、認知症等の難治性疾患に対する画期的な新しい薬剤を創出することも出来ると考えています。

⑦のように、記憶機能改善効果があるとされている伝統薬物を処置した神経細胞では、コントロールの神経細胞（⑥）よりも軸索密度が顕著に増加しています。現在、この伝統薬物を基に、新しい作用機序を持つ認知症治療薬の開発研究を精力的に進めています。（富山大学 和漢医薬学総合研究所）

第三部会の活動

Humanities and Social Science

3



①経営機械化展示室

国産初かつ現存する唯一の国産パンチカード・システム用分類機（1943年鐘淵実業製）など、1941年以来導入された28点の歴史的計算機器を展示しており、2014年には情報処理学会「分散コンピュータ博物館」に認定されました。戦時中、神戸で分類器が国産化され、その現物が残っていたことは、専門家にとっても大きな衝撃でした。（神戸大学 経済経営研究所）

②The Japanese Accounting Review (TJAR)

1953年の創刊より50年以上の歴史をもつKOBEECONOMIC&BUSINESS REVIEWの後継誌として、2011年に会計学における国内唯一の英文査読付雑誌TJARを創刊しました。世界中から投稿を受け付け、会計学の国際的発展と国内における活性化に貢献しています。（神戸大学 経済経営研究所）

③鐘紡資料

戦前戦後、3大紡績会社の一つであったカネボウ株式会社は、紡績・化粧品・薬品・食品・住宅と大規模な多角的経営を行いました。鐘紡資料は、同社の設立（1886年）から1990年代までをカバーする、段ボール箱110箱分の膨大かつ極めて貴重な資料群です。現在、デジタル画像化、データベース化によるWeb公開を進めています。（神戸大学 経済経営研究所）

④ミャンマー・チン州、カンパレーのキリスト教会

この日、教会ではNGO主催の農村開発に関するミーティングが地元住民を招いて開催されていました。教会が農村開発においても重要な場となっていることがうかがえます。2014年12月、フィールド調査にて。（京都大学 東南アジア研究所）

⑤カンボジア・ヴィアルベイン州

平和が構築されると人々のモビリティが高まります。かつての戦場が、新たな入植者により、国際市場向けのトウモロコシ生産地へと一気に変貌しつつあります。2013年8月、フィールド調査にて。（京都大学 東南アジア研究所）

⑥インドネシア・中部カリマンタン州、バランカラヤの熱帯泥炭湿地

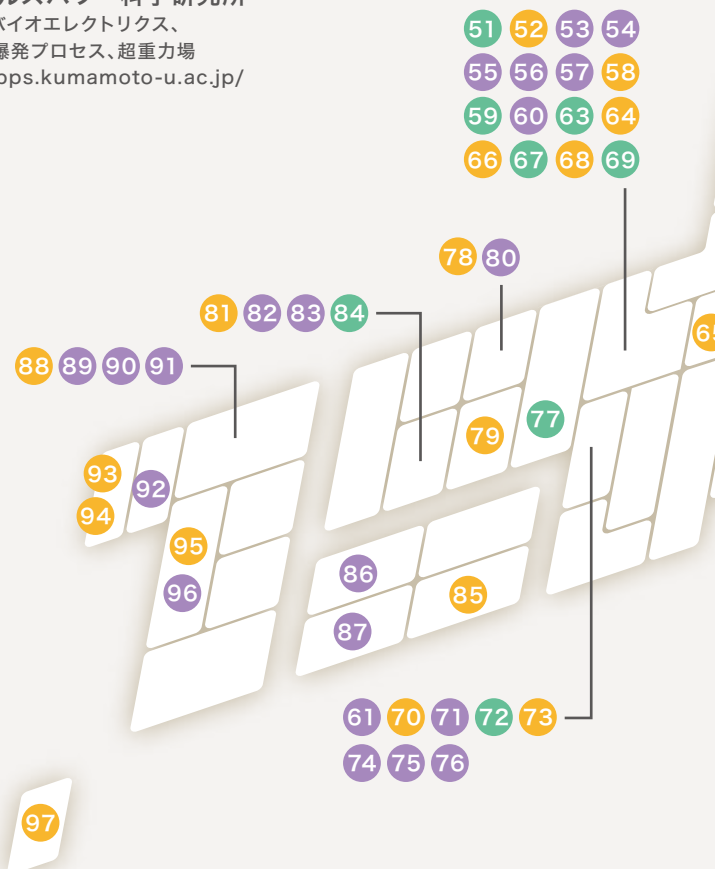
長期間にわたり炭素の貯蔵庫として機能してきた湿地林では、乱伐とその後の火災により荒廃地化が進んでいます。2000年8月、フィールド調査にて。（京都大学 東南アジア研究所）



平成28年度 第一部会長
京都大学 基礎物理学研究所
佐々木 節 所長

- 1 北海道大学 低温科学研究所 (○)
低温、寒冷圏、水・物質循環、雪氷、
生物環境、環オホーツク
<http://www.lowtem.hokudai.ac.jp/>
- 2 北海道大学 電子科学研究所 (○)
複合領域ナノサイエンス
<http://www.es.hokudai.ac.jp/>
- 4 北海道大学 触媒科学研究所 (○)
触媒、表面化学、電極表面、光触媒、炭素資源変換、有機材料、
高分子、触媒理論化学、実用化基盤技術開発
<http://www.cat.hokudai.ac.jp/>
- 8 東北大学 金属材料研究所 (○)
材料物性、材料設計、物質創製、材料プロセス・評価
エネルギー材料、社会基盤材料、エレクトロニクス材料
<http://www.imr.tohoku.ac.jp/>
- 10 東北大学 流体科学研究所 (○)
流体、流動、環境・エネルギー、人・物質マルチスケールモビリティ、
健康・福祉・医療、エアロスペース、ナノ・マイクロ、融合研究
<http://www.ifs.tohoku.ac.jp/>
- 11 東北大学 電気通信研究所 (○)
情報デバイス、ブロードバンド通信、人間情報システム、ソフトウェア工学、
ナノエレクトロニクス・スピントロニクス、ブレインウェア
<http://www.riec.tohoku.ac.jp/>
- 12 東北大学 多元物質科学研究所 (○)
多元物質科学、有機・無機ハイブリッド材料、プロセスシステム・
デバイス工学、先端計測技術開発、ネットワーク型共同研究拠点
<http://www.tagen.tohoku.ac.jp/>
- 13 東北大学 災害科学国際研究所
災害、防災、減災、地震、津波、復興、
文理連携、実践的防災学
<http://irides.tohoku.ac.jp/index.html>
- 15 筑波大学 計算科学研究センター (○)
学際計算科学、計算機科学、スーパーコンピュータ
<http://www.ccs.tsukuba.ac.jp/>
- 20 千葉大学 環境リモートセンシング研究センター (○)
リモートセンシング、地理情報、大気環境、陸域環境、
食糧生産、気候変動
<http://www.cr.chiba-u.jp/>
- 22 東京大学 地震研究所 (○)
地震、火山、津波、地球内部構造、地球内部ダイナミクス、
自然災害、観測固体地球科学
<http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/>
- 25 東京大学 生産技術研究所
生産技術全般、産学連携研究、国際連携研究、基礎系、
機械・生体系、情報・エレクトロニクス系、物質・環境系、人間・社会系
<http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/>
- 28 東京大学 宇宙線研究所 (○)
宇宙線、ニュートリノ、重力波
<http://www.icrr.u-tokyo.ac.jp/>
- 29 東京大学 物性研究所 (○)
物性科学、新物質、ナノサイエンス、量子ビーム、
強磁場、光科学、計算物質科学
<http://www.issp.u-tokyo.ac.jp/>
- 31 東京大学 先端科学技術研究センター
材料、情報、環境・エネルギー、生物医化学、バリアフリー、社会科学
<http://www.rcast.u-tokyo.ac.jp/>
- 32 東京大学 素粒子物理国際研究センター (○)
素粒子物理、CERN LHC-ATLAS実験、PSI MEG実験、
国際リニアコライダーILC、陽子・陽子衝突、ヒッグス粒子、
超対称性理論、統一理論
<http://www.icepp.s.u-tokyo.ac.jp/>
- 33 東京大学 空間情報科学研究センター (○)
位置情報、GIS(地理情報科学)、空間情報社会
<http://www.csis.u-tokyo.ac.jp/japanese/index.html>
- 34 東京医科歯科大学 生体材料工学研究所 (○)
ものづくり、医療用デバイス、マテリアルバイオロジー、
医療用ロボット、創薬
<http://www.tmd.ac.jp/i-mde/www/>
- 37 東京工業大学 未来産業技術研究所 (○)
知能化学、情報イノベーション、電子機能システム、
量子ナノエレクトロニクス、フォトニクス集積システム、先進メカノデバイス、
融合メカノシステム、先端材料、都市防災、異種機能集積、生体医歯工学
<http://www.first.iir.titech.ac.jp/index.html>
- 38 東京工業大学 フロンティア材料研究所 (○)
セラミックス、機能性酸化物、先端材料、建築構造・材料、耐震・制振
<http://www.msl.titech.ac.jp/index.html>
- 39 東京工業大学 化学生命科学研究所 (○)
グリーンケミストリー、機能性高分子、バイオマス資源、
省エネルギー、超分子、医用工学
<http://www.res.titech.ac.jp/index.html>
- 40 東京工業大学 先端原子力研究所
原子力エネルギー、量子・粒子線関連科学、
核燃料・放射性廃棄物処理・処分、同位体化学、放射線医療応用・生物影響
<http://www.lane.iir.titech.ac.jp/jp/index.html>
- 43 新潟大学 災害・復興科学研究所
自然災害科学、豪雪、極端気象、地震、噴火、土砂・洪水災害、
複合連動災害、減災対策、復興、危機管理
<http://www.nhdr.niigata-u.ac.jp/>
- 46 静岡大学 電子工学研究所 (○)
イメージングデバイス、ナノエレクトロニクス、ナノフォトニクス、ナノマテリアル
<http://www.rie.shizuoka.ac.jp/>
- 47 静岡大学 グリーン科学技術研究所
グリーンエネルギー創成、最適化エネルギーネットワーク、
環境ストレスマネジメント、ゲノム科学、機能性分子の発見・設計・創成
<http://www.green.shizuoka.ac.jp/>
- 49 名古屋大学 未来材料・システム研究所 (○)
革新的省エネルギー技術、高度計測技術、先端的な材料・デバイス、
社会実装のためのシステム技術
<http://www.imass.nagoya-u.ac.jp>
- 50 名古屋大学 宇宙地球環境研究所 (○)
太陽地球系科学、宇宙線、太陽、太陽風、電磁気圏、超高層大気、
気象学、海洋学、水循環、地球表層、鉱物学、考古学、年代測定
<http://www.isee.nagoya-u.ac.jp/>
- 53 京都大学 化学研究所 (○)
化学、元素科学、物性科学、生物・情報学、
ビーム科学、および学際プラットフォーム
<http://www.kuicr.kyoto-u.ac.jp>

- 54 京都大学 エネルギー理工学研究所 (○)**
先進エネルギー、ゼロエミッションエネルギー、
先進プラズマ・量子エネルギー応用、
高効率太陽光エネルギー利用、バイオリファイナリー、
ソフトエネルギー創発科学
<http://www.iae.kyoto-u.ac.jp/>
- 55 京都大学 生存圏研究所 (○)**
生存圏科学、環境診断・循環機能制御、
太陽エネルギー変換・高度利用、宇宙生存環境、
循環材料・環境共生システム、高品位生存圏
<http://www.rish.kyoto-u.ac.jp/>
- 56 京都大学 防災研究所 (○)**
防災学、減災学、災害学理、自然災害科学、地震災害、
火山災害、地盤災害、気象災害、水災害、総合防災
<http://www.dpri.kyoto-u.ac.jp/>
- 57 京都大学 基礎物理学研究所 (○)**
素粒子論、原子核理論、物性理論、宇宙論
<http://www.yukawa.kyoto-u.ac.jp/>
- 60 京都大学 数理解析研究所 (○)**
数学、数理科学
<http://www.kurims.kyoto-u.ac.jp/ja/>
- 61 京都大学 原子炉実験所 (○)**
研究用原子炉、加速器、核エネルギー利用、
放射線利用、複合原子力科学
<http://www.rri.kyoto-u.ac.jp/>
- 71 大阪大学 産業科学研究所 (○)**
情報科学、量子科学、材料科学、ビーム科学、
生体科学、分子科学、ナノテクノロジー
<http://www.sanken.osaka-u.ac.jp/>
- 74 大阪大学 接合科学研究所 (○)**
溶接・接合技術、国際研究連携、ものづくり基盤技術、
産学連携事業、共同利用・共同研究
<http://www.jwri.osaka-u.ac.jp/index.jsp>
- 75 大阪大学 核物理研究センター (○)**
原子核物理学、ハドロン物理学、加速器物理学、計算物理学
<http://www.rcnp.osaka-u.ac.jp/>
- 76 大阪大学 レーザーエネルギー学研究センター (○)**
高出力レーザー、高エネルギー密度科学、レーザー核融合
<http://www.ile.osaka-u.ac.jp/>
- 80 岡山大学 惑星物質研究所 (○)**
高温高压実験、鉱物物性、メルトの構造、組織解析、
主要・微量元素分析、同位体分析、年代測定、アストロバイオロジー
<http://www.misasa.okayama-u.ac.jp/jp/>
- 82 広島大学 ナノデバイス・バイオ融合科学研究所 (○)**
ナノ集積科学、集積システム科学、分子生命情報科学、集積医科学
<http://www.rnbs.hiroshima-u.ac.jp/modx/index.html>
- 83 広島大学 放射光科学研究センター (○)**
物質科学、固体物理、放射光、超伝導、スピン、
高輝度小型放射光源、人材育成
<http://www.hsrc.hiroshima-u.ac.jp/>
- 86 愛媛大学 地球深部ダイナミクス研究センター (○)**
超高压実験、第一原理計算、地球ダイナミクス、鉱物物性、
相転移、地球深部、マントル、核、レオロジー、地球深部水、
スーパーアース、惑星科学、ダイヤモンド、新物質合成
<http://www.grc.ehime-u.ac.jp/>
- 87 高知大学 海洋コア総合研究センター (○)**
国際深海科学掘削計画(IODP)、地球掘削科学、
地球環境システム変動、海底資源学、海洋天然物化学
<http://www.kochi-u.ac.jp/marine-core/>
- 89 九州大学 応用力学研究所 (○)**
応用力学、核融合力学、
新エネルギー力学、地球環境力学
<https://www.riam.kyushu-u.ac.jp/>
- 90 九州大学 先導物質化学研究所 (○)**
物質化学、ソフトマテリアル、機能材料、
炭素材料、エネルギーデバイス
<http://www.cm.kyushu-u.ac.jp/>
- 91 九州大学 マス・フォア・インダストリ研究所 (○)**
産業数学、数学、数理科学、統計学
<http://www.imi.kyushu-u.ac.jp/>
- 92 佐賀大学 海洋エネルギー研究センター (○)**
海洋エネルギー、海洋温度差発電、波力発電、潮流発電、
再生可能エネルギー、自然エネルギー
<http://www.ioes.saga-u.ac.jp/jp/>
- 96 熊本大学 パルスパワー科学研究所**
パルスパワー、バイオエレクトロニクス、
極限物性科学、爆発プロセス、超重力場
<http://www.ipps.kumamoto-u.ac.jp/>



センター部会別一覧

Institutes and Centers of
al Universities

2

医学・生物学系
第2部会の研究所・研究センター
Medical and Biology

第2部会シンポジウム

平成28年10月28日(金)～29日(土)

担当機関:岡山大学 資源植物科学研究所



平成28年度
第二部会長
広島大学
原爆放射線医科学研究所
松浦 伸也 所長



3 北海道大学 遺伝子病制御研究所 (○)

免疫学、感染、がん、炎症、基礎医学、生命科学
<http://www.igm.hokudai.ac.jp/>

6 北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター (○)

人獣共通感染症、予防・診断・治療法の開発、
グローバルサーベイランス、アジア・アフリカ、One Health
<http://www.czc.hokudai.ac.jp/>

7 帯広畜産大学 原虫病研究センター (○)

原虫病、ベクター、OIEコラボレーティングセンター、
アジア・アフリカ、獣医学
<http://www.obihiro.ac.jp/~protozoa/index.html>

9 東北大学 加齢医学研究所 (○)

加齢制御、腫瘍制御、脳科学、スマート・エイジング
<http://www.idac.tohoku.ac.jp/>

16 筑波大学 遺伝子実験センター (○)

遺伝資源、遺伝子組換え植物、特定網室、
環境影響試験圃場、リスク分析、LMO/GMO理解増進
<http://www.gene.tsukuba.ac.jp/>

17 筑波大学 下田臨海実験センター

海洋生物学、生物多様性、進化発生系統、
海洋生態、海洋環境
<http://www.shimoda.tsukuba.ac.jp/>

18 群馬大学 生体調節研究所 (○)

内分泌・代謝、生活習慣病、細胞生物学、ゲノム・エピゲノム解析
<http://www.imcr.gunma-u.ac.jp/>

19 千葉大学 真菌医学研究センター (○)

病原真菌・放線菌、臨床感染症、免疫、病原真菌・放線菌バイオリソース
<http://www.pf.chiba-u.ac.jp>

21 東京大学 医科学研究所 (○)

医科学研究、感染症、免疫学、がん研究、ヒトゲノム解析、疾患システム研究、
再生医療、個別化医療、遺伝子・細胞治療、トランスレーショナル・リサーチ
<http://www.ims.u-tokyo.ac.jp/imsut/jp/>

27 東京大学 分子細胞生物学研究所

構造生物学、分子生物学、生化学、シグナル伝達、細胞生物学、発生生物学、
脳・神経科学、肝臓、心臓、癌、RNA、エピゲノム、染色体、幹細胞、創薬、
再生医療、老化、寿命
<http://www.iam.u-tokyo.ac.jp/indexe.html>

30 東京大学 大気海洋研究所 (○)

海洋、大気、気候変動、海洋生物資源、地球生命圏
<http://www.aori.u-tokyo.ac.jp/>

35 東京医科歯科大学 難治疾患研究所 (○)

難治疾患、基礎生物学、ゲノム応用医学、難治病態、先端分子医学
<http://www.tmd.ac.jp/mri/>

42 新潟大学 脳研究所 (○)

基礎・臨床神経学、精神神経疾患、バイオリソース、
統合脳機能、神経病理学、ヒト脳科学
<http://www.bri.niigata-u.ac.jp/>

44 富山大学 和漢医薬学総合研究所

漢方医学、伝統医学、データベース、
病態薬効解析、生薬成分分析
<http://www.inm.u-toyama.ac.jp/index-j.html>

45 金沢大学 がん進展制御研究所 (○)

がん幹細胞、がん微小環境、転移・再発、薬剤耐性
<http://ganken.cri.kanazawa-u.ac.jp/>

48 名古屋大学 環境医学研究所

次世代創薬、ストレス受容・応答、生体適応・防御、
新規治療法・予防法、心血管、脳神経系、内分泌、代謝、ゲノム制御
<http://www.riem.nagoya-u.ac.jp/>

52 京都大学 再生医科学研究所 (○)

再生生物学、幹細胞、医工学、再生医療
<http://www.frontier.kyoto-u.ac.jp/>

58 京都大学 ウイルス研究所 (○)

ウイルス学、生命科学、分子生物学、細胞生物学
<http://www.virus.kyoto-u.ac.jp/index.html>

62 京都大学 霊長類研究所 (○)

霊長類の総合研究、人間の進化、学際的研究、国際化
<http://www.pri.kyoto-u.ac.jp/index-j.html>

3

人文・社会科学系 第3部会の 研究所・研究センター Humanities and Social Science

第3部会シンポジウム

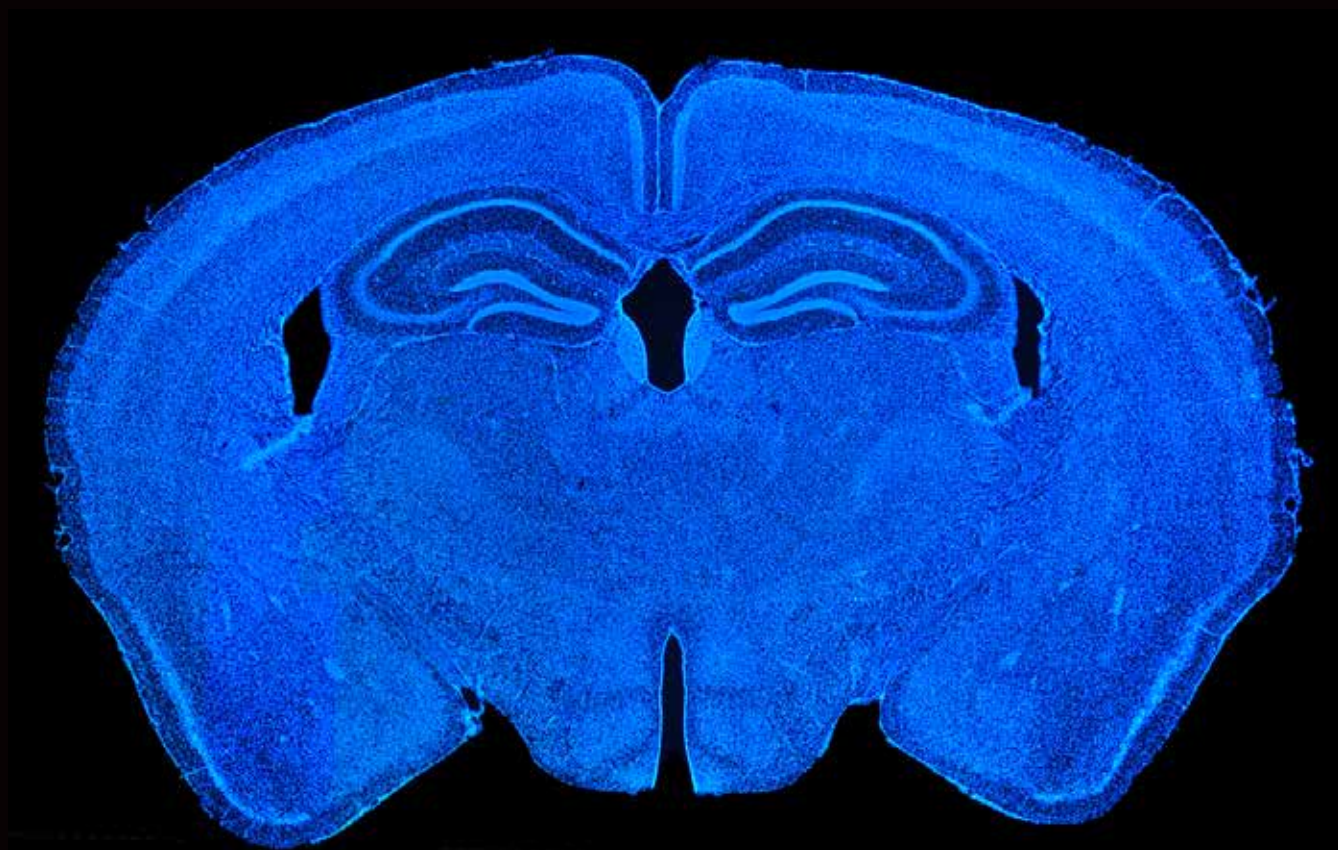
平成28年10月21日(金)

担当機関: 神戸大学 経済経営研究所



平成28年度
第三部会長
神戸大学
経済経営研究所
上東 貴志 所長

- 64 京都大学 iPS細胞研究所
iPS細胞、再生医療、幹細胞
<http://www.cira.kyoto-u.ac.jp/j/index.html>
- 65 京都大学 生態学研究センター (○)
生態系、生物多様性、生物間相互作用、琵琶湖、熱帯林
<http://www.ecology.kyoto-u.ac.jp/>
- 66 京都大学 放射線生物研究センター (○)
放射線生物影響、DNA損傷修復、
細胞周期チェックポイント、クロマチンダイナミクス
<http://www.rbc.kyoto-u.ac.jp/>
- 68 京都大学 野生動物研究センター (○)
野生動物、フィールドワーク、動物園、絶滅危惧種、保全
<http://www.wrc.kyoto-u.ac.jp/>
- 70 大阪大学 微生物病研究所 (○)
感染症、病原体、免疫、生体防御、
基礎生物学、がん、海外拠点
<http://www.biken.osaka-u.ac.jp/>
- 73 大阪大学 蛋白質研究所 (○)
蛋白質科学、ライフサイエンス、構造・機能生物学、
プロテインデータバンク
<http://www.protein.osaka-u.ac.jp/>
- 78 鳥取大学 乾燥地研究センター (○)
乾燥地科学、砂漠化、干ばつ、ダスト、環境修復
<http://www.alrc.tottori-u.ac.jp/index.html>
- 79 岡山大学 資源植物科学研究所 (○)
植物遺伝資源、植物ストレス、分子育種
<http://www.rib.okayama-u.ac.jp/index-j.html>
- 81 広島大学 原爆放射線医科学研究所 (○)
原爆被爆者、放射線障害、被ばく医療、放射線、
ゲノム科学、ゲノム損傷、DNA損傷応答、再生医学
<http://www.rbm.hiroshima-u.ac.jp/index-j.html>
- 85 徳島大学 先端酵素学研究所 (○)
基礎医学、分子生物学、免疫学、酵素、ゲノム、プロテオーム、
糖尿病、オープンイノベーション
<http://www.tokushima-u.ac.jp/index.html>
- 88 九州大学 生体防御医学研究所 (○)
多階層生体防御システム、感染ネットワーク、トランスオミクス、
免疫学、がん生物学、発生再生医学
<http://www.bioreg.kyushu-u.ac.jp/>
- 93 長崎大学 熱帯医学研究所 (○)
熱帯医学、熱帯公衆衛生学、国際保健、災害医療、
ベトナム・ケニア拠点、熱帯病ミュージアム
<http://www.tm.nagasaki-u.ac.jp/nekken/>
- 94 長崎大学 原爆後障害医療研究所 (○)
放射線影響学、被ばく医療、ゲノム学、腫瘍学
<http://www-sdc.med.nagasaki-u.ac.jp/index-sjis.html>
- 95 熊本大学 発生医学研究所 (○)
発生制御、幹細胞、器官構築、臓器再建
<http://www.imeg.kumamoto-u.ac.jp/>
- 97 琉球大学 熱帯生物圏研究センター (○)
亜熱帯島嶼、サンゴ礁、マングローブ、生物多様性、
共生、遺伝資源、感染症
<http://www.tbc.u-ryukyu.ac.jp/ja/>
- 5 北海道大学 スラブ・ユーラシア研究センター (○)
スラブ・ユーラシア地域研究、ロシア、シベリア・極東、
中央ユーラシア、東欧、地域比較、境界研究
<http://src-h.slav.hokudai.ac.jp/index.html>
- 14 東北大学 東北アジア研究センター
東北アジア、地域研究、文理連携
<http://www.cneas.tohoku.ac.jp/>
- 23 東京大学 東洋文化研究所
アジア研究、アジア学、東洋文化、アジアと世界
<http://www.ioc.u-tokyo.ac.jp/>
- 24 東京大学 社会科学研究所 (○)
社会科学の学際研究、現代日本社会研究、
全所的プロジェクト、社会調査・データアーカイブ
<http://jwww.iss.u-tokyo.ac.jp/>
- 26 東京大学 史料編纂所 (○)
歴史学、日本史、歴史情報学、文献研究、文化財、史料学
<http://www.hi.u-tokyo.ac.jp/index-j.html>
- 36 東京外国語大学 アジア・アフリカ言語文化研究所 (○)
言語ダイナミクス科学、中東・イスラーム圏、アフリカ、人類学
<http://www.aa.tufs.ac.jp/>
- 41 一橋大学 経済研究所 (○)
経済制度、公的統計マイクロデータ、高度実証分析拠点、
世代間問題、長期経済統計
<http://www.ier.hit-u.ac.jp/Japanese/>
- 51 京都大学 人文科学研究所 (○)
人文学、人類学、社会学、情報学、科学史、
中国学、韓国学、現代中国研究
<http://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp/>
- 59 京都大学 経済研究所 (○)
複雑系経済学、経済変動、ゲーム理論、組織と戦略
<http://www.kier.kyoto-u.ac.jp/jpn/index.html>
- 63 京都大学 東南アジア研究所 (○)
持続型生存基盤研究、文理融合アプローチ、
フィールド・サイエンス、ASEAN、実践型地域研究
<http://www.cseas.kyoto-u.ac.jp/>
- 67 京都大学 地域研究統合情報センター (○)
地域情報学、相関型地域研究、情報資源共有化、
地域研究方法論、災害対応の地域研究
<http://www.cias.kyoto-u.ac.jp/>
- 69 京都大学 こころの未来研究センター
こころの学際研究、心理学、脳科学、人文社会科学、
基礎研究と社会連携
<http://kokoro.kyoto-u.ac.jp/>
- 72 大阪大学 社会経済研究所 (○)
行動経済学、経済実験、経済政策、制度設計
<http://www.iser.osaka-u.ac.jp/>
- 77 神戸大学 経済経営研究所
グローバル経済、企業競争力、企業情報、グローバル金融、企業資料
<http://www.rieb.kobe-u.ac.jp/>
- 84 広島大学 高等教育研究開発センター
高等教育研究、大学改革、大学の管理と経営、高等教育政策財政研究
<http://rihe.hiroshima-u.ac.jp/>



表紙画像：iHep細胞の免疫染色像

ダイレクトリプログラミングによってマウスの皮膚細胞から作製された肝細胞様細胞 (iHep細胞) の免疫蛍光染色像。緑色：アルブミン、赤色：E-カドヘリン、青色：細胞核 (九州大学 生体防御医学研究所)

裏表紙画像：マウス脳

正常な成体マウスの脳のDNAを4',6-diamidino-2-phenylindole (DAPI)で染色し、蛍光顕微鏡で観察した。神経細胞核が密に存在する海馬や大脳皮質の神経細胞の層構造が見える。(九州大学 生体防御医学研究所)

「国立大学附置研究所・センター長会議」は、
全国の国立大学の研究所・センターの所長・センター長が協力して
日本の学術研究を発展させることを目的とした組織です。

組織紹介

30の国立大学の97の研究所・研究センターから構成されます。

所属教員数は3400名を超えます。

理工系中心の第1部会 (49研究所・センター)、
医学・生物系中心の第2部会 (34研究所・センター)、
人文・社会系中心の第3部会 (14研究所・センター) からなります。

主な活動

- 各研究所・センター間の学術交流と情報交換
- 文部科学省との情報交換
- 学術研究政策に対する問題提起や提言
- 研究所・センターが行っている研究の広報
- 最先端研究を紹介するためのシンポジウムの開催

●お問い合わせ

平成28年度 国立大学附置研究所・センター長会議

大阪大学微生物病研究所

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘3-1 TEL 06-6879-8267 FAX 06-6879-8266

<http://www.shochou-kaigi.org/>

